

サウンドバー
HT-S2000



型式：YY2079C

本機を使用するためにアプリをインストールしてください



すべての機能と改善された性能をご活用いただくために、本機のソフトウェアや“Sony | BRAVIA Connect”アプリは最新のバージョンをお使いください。

本機の使いかた／各部の名称

[本機を使うために必要なアプリについて](#)

[本機とつながる機器](#)

各部の名称

— [バースピーカー](#)

— [付属リモコン](#)

— [アプリのリモコン画面](#)

初期設定をする

本機を設置する

[バースピーカーを設置する](#)

[バースピーカーを壁に取り付ける](#)

[テレビとつなぐ](#)

[電源につなぐ](#)

[“Sony | BRAVIA Connect”アプリで初期設定をする](#)

音楽／音声を再生する

[テレビの音声を聞く](#)

[音質を調整する](#)

BLUETOOTH®機能でソニー製テレビの音声を聞く

[テレビとBLUETOOTH機能でつなぐとできること](#)

[本機とテレビをワイヤレスでつないで音声を聞く](#)

[機器登録（ペアリング）したテレビの音声を聞く](#)

BLUETOOTH機能で音楽／音声を聞く

[モバイル機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く](#)

[機器登録（ペアリング）済みのモバイル機器の音楽を聞く](#)

[無線機能のオン／オフを設定する](#)

テレビと連携して使う

[テレビと本機を連携して操作する（HDMI機器制御機能）](#)

[“ブラビアリンク”対応テレビと本機を連携して操作する](#)

アプリから本機の設定を変更する

[\[ワイヤレススピーカー接続設定\]](#)

[\[サウンド設定\]](#)

[\[HDMI設定\]](#)

[\[Bluetooth設定\]](#)

[\[本体設定\]](#)

[\[かんたん初期設定\]](#)

困ったときは

[困ったときにすること](#)

[初期化する](#)

その他

[主な仕様](#)

[対応する音声フォーマット](#)

[商標について](#)

[ライセンスについて](#)

[ご注意](#)

[サポートページで調べる](#)

サウンドバー
HT-S2000

本機を使うために必要なアプリについて

本機の操作や設定には“Sony | BRAVIA Connect”アプリをインストールしたスマートフォンを使用します。
スマートフォンに“Sony | BRAVIA Connect”をインストールしてください。



アプリを使うと、以下のような操作や設定を行うことができます。

- 本機の初期設定をする
- 本機の音量調節や入力切り換えなどの操作をする
- 本機の設定をお好みのものに変更する
- 別売のリアスピーカーやサブウーファーと接続し初期設定をする
- 本機のソフトウェアを最新にアップデートする
- サポート情報や最新のアップデート情報を見る

付属リモコンではコンテンツ視聴時によく使用する操作や設定のみ行うことができます。

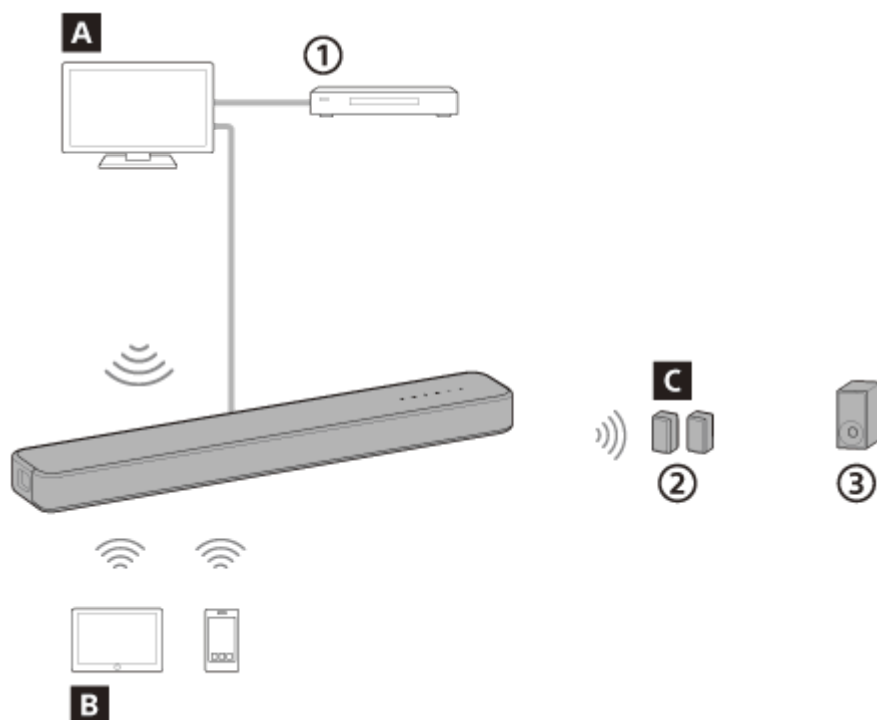
関連項目

- [付属リモコン](#)
- [アプリのリモコン画面](#)

サウンドバー
HT-S2000

本機とつながる機器

本機はDolby Atmos、DTS:Xなどのオブジェクトオーディオフォーマットに対応しています。



- ① ブルーレイディスク™レコーダー、ケーブルテレビ (CATV) ボックス/衛星放送チューナー、またはゲーム機など
- ② リアスピーカー
- ③ サブウーファー

A テレビ

本機とテレビをHDMIケーブルやBLUETOOTH機能でつなぐと、本機でテレビの音声を再生することができます。

[テレビの音声を聞く](#)

[テレビとBLUETOOTH機能でつなぐとできること](#)

B モバイル機器

本機は“Sony | BRAVIA Connect”アプリを使って操作や設定を行います。

本機とモバイル機器をBLUETOOTH機能でつなぐと、本機でモバイル機器の音楽を再生することができます。

[モバイル機器を機器登録 \(ペアリング\) して音楽を聞く](#)

C 別売スピーカー

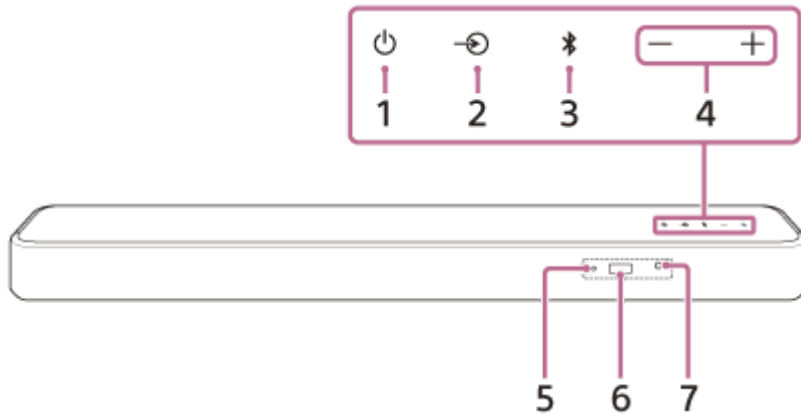
別売のリアスピーカー/サブウーファーはアプリを使って操作できます。

本機に対応している別売のスピーカーは、ソニーのホームページでご確認ください。

サウンドバー
HT-S2000

バースピーカー

正面



1. 電源 (電源)

本機の電源を入れます。本機の電源が入っているときにタップすると、本機がスタンバイ状態になります。

2. 入力切替 (入力切替)

本機で再生する入力を選びます。

3. Bluetooth (BLUETOOTH)

4. + / - (音量)

5. BLUETOOTHランプ

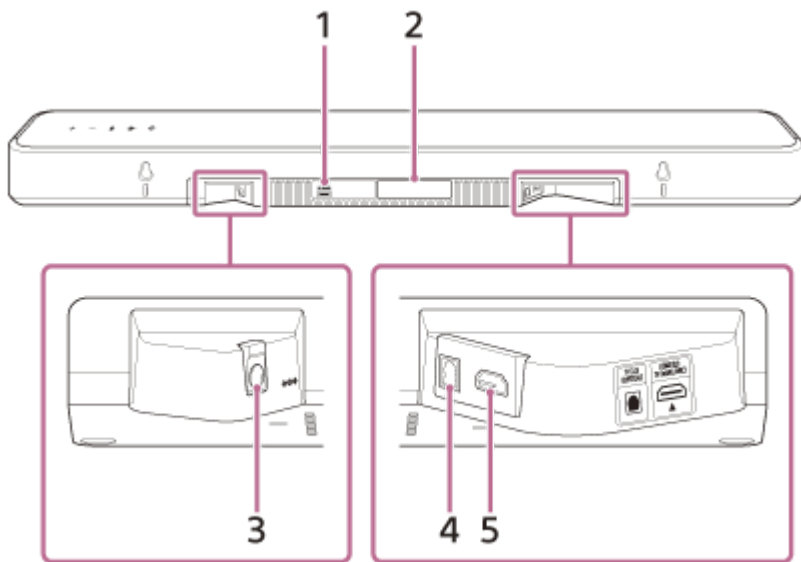
- 青色で2回ずつ点滅：BLUETOOTH機器登録（ペアリング）待ち状態です。
- 青色で点滅：BLUETOOTH接続待ち状態です。
- 青色で点灯：BLUETOOTH機器とBLUETOOTH接続されています。

6. 表示窓

7. リモコン受光部

付属リモコンをバースピーカーの受光部に向けて操作してください。

背面



1. FOR SERVICE端子

2. IRリピーター

バースピーカーが受けたテレビのリモコン信号をテレビに転送します。

3. DC入力端子

4. TV入力（OPTICAL）（テレビ入力（光デジタル））端子

5. HDMI出力（TV（eARC/ARC））端子

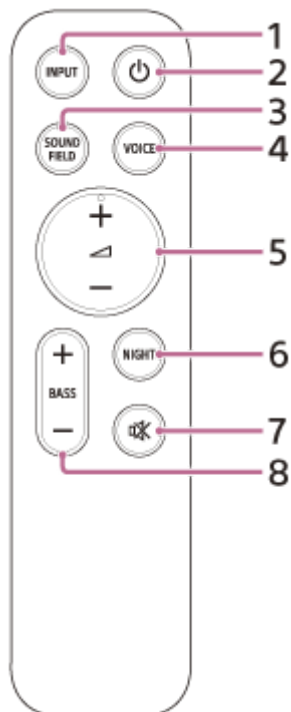
HDMI入力端子のあるテレビをHDMIケーブルでつなぎます。本機はeARCおよびARCに対応しています。ARCとはHDMIケーブルを通して、テレビの音声をテレビのHDMI端子から本機などのAV機器に送る機能です。eARCはこのARCを拡張したもので、ARCでは伝送できなかったオブジェクトオーディオやマルチチャンネルLPCMの伝送が可能になります。

関連項目

- [テレビとつなぐ](#)
- [電源につなぐ](#)

サウンドバー
HT-S2000

付属リモコン



1. INPUT (入力切換)

本機で再生する入力を選びます。
押すたびに、[TV] 入力と [BT] 入力が切り換わります。

2. 電源 (電源)

本機の電源入/スタンバイを切り換えます。

3. SOUND FIELD (サウンドフィールド)

本機のサラウンド効果をオン/オフします。

4. VOICE (ボイスモード)

本機のボイスモード機能をオン/オフします。

5. (音量) + (*) / -

本機の音量を調節します。

6. NIGHT (ナイトモード)

本機のナイトモード機能をオン/オフします。

7. (消音)

本機の音を一時的に消します。

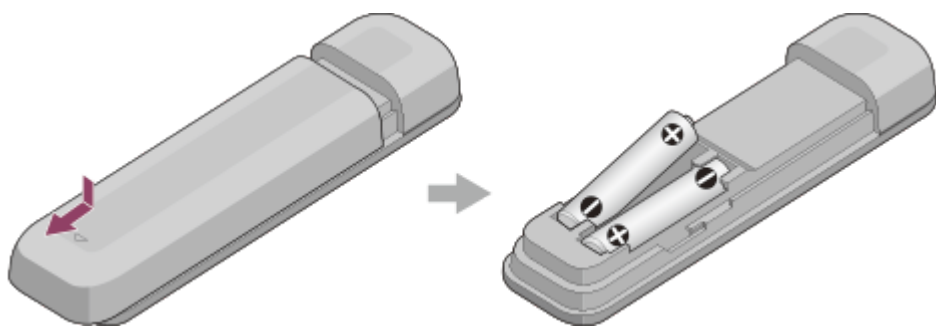
8. BASS (低音レベル) + / -

本機の内蔵サブウーファー (または別売のサブウーファー) の音量を調節します。

* (音量) + には、凸点 (突起) が付いています。操作の目印としてお使いください。

電池交換について

付属リモコンを操作しても本機が反応しないときは、電池を2つとも新しいものに取り換えてください。
単4形マンガン乾電池をお使いください。



関連項目

- [音質を調整する](#)

5-045-382-01(3) Copyright 2022 Sony Corporation

サウンドバー
HT-S2000

アプリのリモコン画面

“Sony | BRAVIA Connect”アプリのリモコン画面で、以下の操作ができます。

- **再生情報表示／入力切替エリア**

画面上部に選択中の入力などが表示されます。タップすると以下の情報や操作が表示されます。

- 再生メタ情報：再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名、曲の長さなど
- Stream Info：入力信号の周波数、ビットレートなど
- 音声フォーマット：入力信号の音声フォーマット（Atmos、DTSなど）やチャンネル数など
- 本機につないでいるBLUETOOTH機器名
- BLUETOOTH機器の再生操作
- 入力切替

- **[電源]**

本機の電源が入っているときにタップすると、本機がスタンバイ状態になります。

- **[ナイトモード]**

本機のナイトモード機能をオン／オフします。

- **[サウンドフィールド]**

本機のサラウンド効果をオン／オフします。

- **[ボイスモード]**

本機のボイスモード機能をオン／オフします。

- **[音量]**

本機の音量を調節します。

- **[リアレベル]**

本機にリアスピーカー（別売）をつないでいるときに、リアスピーカーの音量を調節します。

- **[低音レベル]**

本機の内蔵サブウーファー（または別売のサブウーファー）の音量を調節します。

- **[音声切替]**

本機がBSデジタル放送や地上デジタル放送で2か国語放送を受信すると、2か国語放送の音声を切り換えることができます。

- **[設定]**

設定画面を表示して、本機の設定ができます。

ご注意

- 反応が悪いときは、スマートフォンを本機に近づけて操作してください。

関連項目

- [音質を調整する](#)

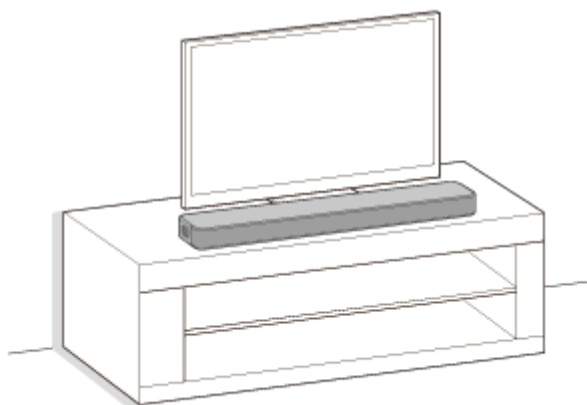
サウンドバー
HT-S2000

バースピーカーを設置する

テレビの設置場所に合わせて、バースピーカーをテレビ台などの棚の上に置く、または壁に取り付けます。

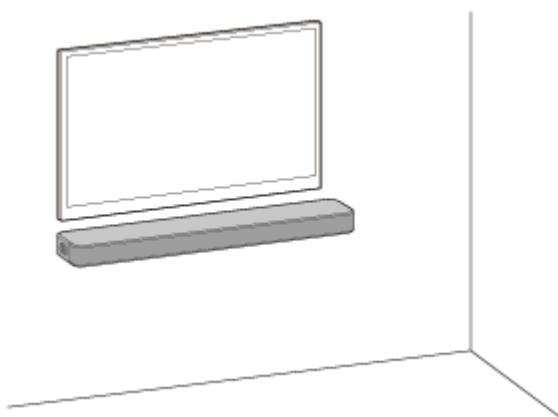
棚などの上に置く

テレビの前の空いているスペースに置いてください。



壁に取り付ける

壁に取り付けたテレビの下に取り付けてください。

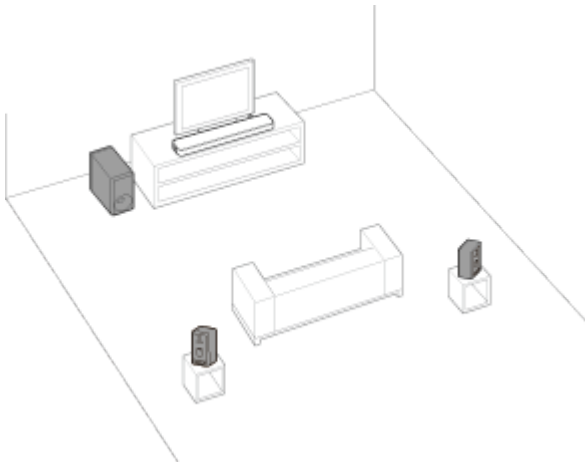


別売のスピーカーと一緒に使用するには

本機のセットアップをまだ開始していない場合は、“Sony | BRAVIA Connect”アプリを使ってセットアップを開始してください。セットアップの途中でアプリが別売のスピーカーの接続を案内します。

すでに本機のセットアップが完了している場合は、アプリの【スピーカー接続】をご確認ください。

別売のスピーカーからの音が途切れる場合は、設置位置や設定を変更すると改善することがあります。



ご注意

- 本機と接続する前に、テレビの電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは、本機とテレビをつないだ後にコンセントに接続してください。
- 本機の周りに金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。
- バースピーカー背面には通気孔があります。通気孔をふさがないでください。

5-045-382-01(3) Copyright 2022 Sony Corporation

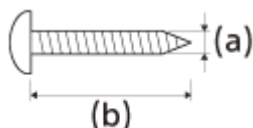
サウンドバー
HT-S2000

バースピーカーを壁に取り付ける

ご注意

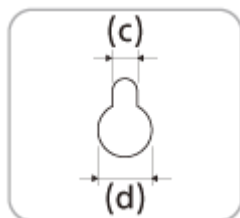
- 壁の材質や強度に合わせた市販のネジをご用意ください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。
- ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- バースピーカーは補強された壁に水平に取り付けてください。
- 販売店や工事に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いません。
- 安全のために、取り付けは必ず2人以上で行ってください。

1 バースピーカー背面の穴に合う市販のネジを2本用意する。



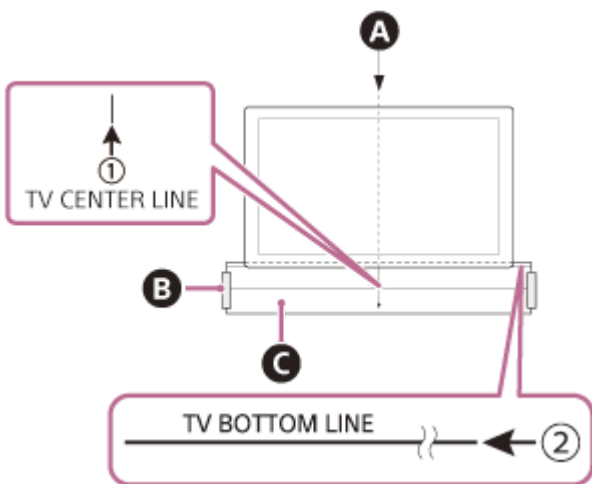
- (a) 4 mm
(b) 30 mm以上

バースピーカー背面の穴



- (c) 5.1 mm
(d) 10 mm

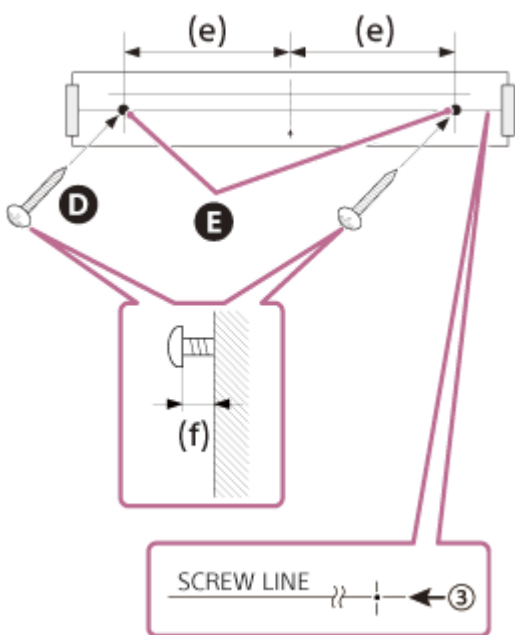
2 テレビの幅の中心に、壁掛けテンプレート（付属）に印字されている「↑① TVセンターライン」の縦線を合わせる。



- A** テレビの中心
- B** セロハンテープなど
- C** 壁掛けテンプレート

3 壁掛けテンプレートに印字されている「 ←② TV下端ライン」をテレビの下端に合わせ、壁掛けテンプレートを市販のセロハンテープなどで貼る。

4 壁掛けテンプレートに印字されている「 ←③ ネジ取付けライン」の印の位置に、手順1で用意したネジを留める。

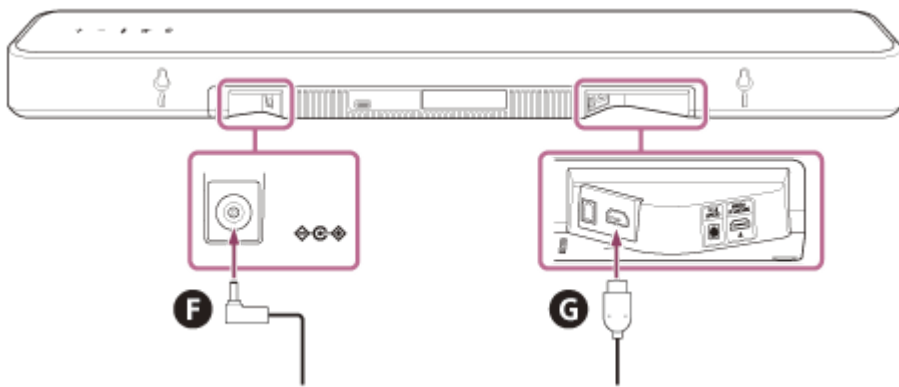


- D** ネジ
- E** 印
- (e) 254 mm
- (f) 9.5 mmから10.5 mm

5 壁掛けテンプレートを取りはずす。

6 バースピーカーにケーブルをつなぐ。

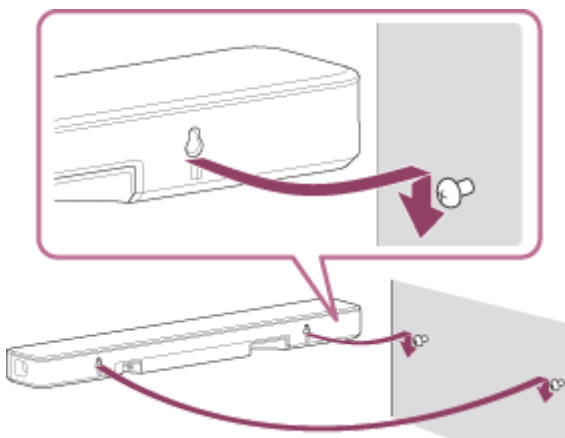
1. バースピーカーのHDMI出力（TV（eARC/ARC））端子にHDMIケーブル（付属）をつなぐ。
2. バースピーカーのDC入力端子にACアダプター（付属）をつなぐ。



- F** ACアダプター（付属）
- G** HDMIケーブル（付属）

7 バースピーカー背面の穴をネジにかける。

バースピーカー背面の穴とネジの位置を合わせてから、2か所同時に取り付けてください。



8 バースピーカーにつないだHDMIケーブル（付属）を、テレビのeARC/ARC HDMI入力端子につなぐ。

9 バースピーカーにつないだACアダプター（付属）の電源コードを、コンセントにつなぐ。

ご注意

- お使いのテレビがeARC/ARCに対応していない場合は、HDMIケーブル（付属）に加えて光デジタル音声ケーブル（別売）をつないでください。
- 壁掛けテンプレートはしっかり伸ばして貼ってください。
- テレビとバースピーカーの距離を70 mm以上離して設置してください。
- バースピーカーの底面が、床から3 cm以上の高さになるように取り付けてください。

別売のスピーカーを壁に取り付けるには

別売のスピーカーの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [テレビとつなぐ](#)
- [電源につなぐ](#)

サウンドバー
HT-S2000

テレビとつなぐ

はじめにテレビがeARC/ARCに対応しているか確かめる

テレビに「eARC」または「ARC」と表記されているHDMI入力端子がある場合

「[eARC/ARC対応のテレビとつなぐ](#)」をご覧ください。



テレビに「eARC」または「ARC」と表記されているHDMI入力端子がない場合

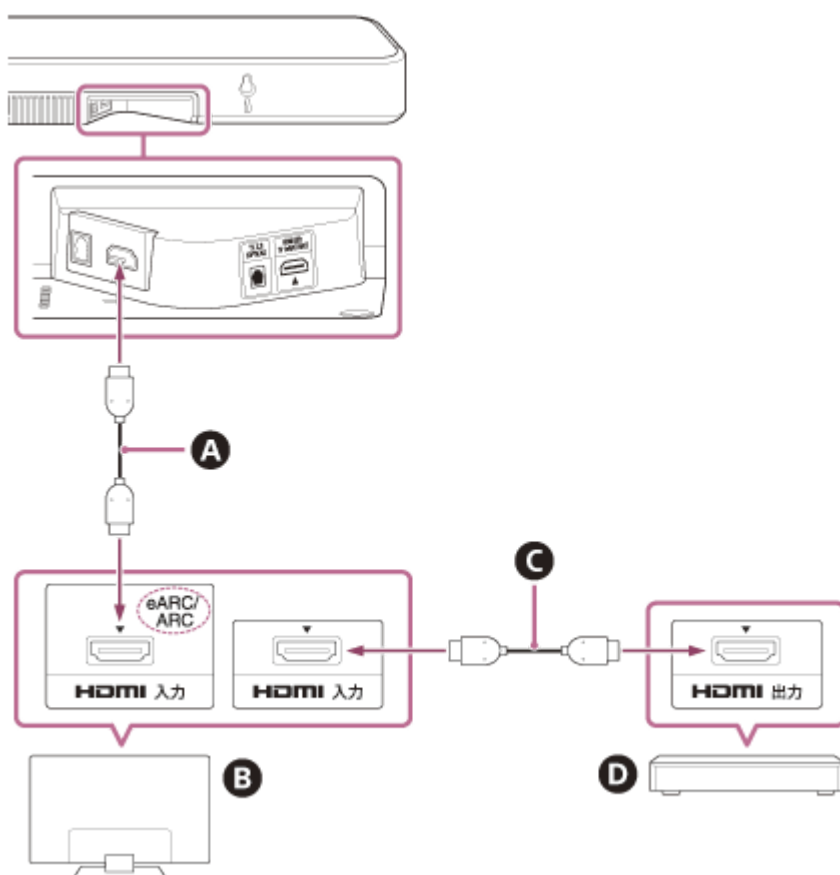
「[eARC/ARC非対応のテレビとつなぐ](#)」をご覧ください。



eARC/ARC対応のテレビとつなぐ

1. テレビとつなぐ

テレビのeARC/ARC対応HDMI入力端子と本機のHDMI出力（TV（eARC/ARC））端子をHDMIケーブル（付属）でつなぎます。



- A** HDMIケーブル（付属）
- B** テレビ
- C** HDMIケーブル（別売）
- D** ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など

外部機器（ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など）は、テレビとHDMIケーブル（別売）でつないでください。

2. テレビの音声を本機から出力できるように、テレビの設定を変更する

お使いのテレビによっては、本機の接続時に自動で設定される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

3. 本機とテレビの両方でeARCを有効に設定する

本機につないだテレビがeARC/ARCに対応している場合は、eARC機能がご利用いただけます。

テレビにつないだ外部機器で再生したDolby Atmosなどのより高音質な音声フォーマットをお楽しみになるときは、本機とテレビのeARC設定が有効になっていることを確認してください。

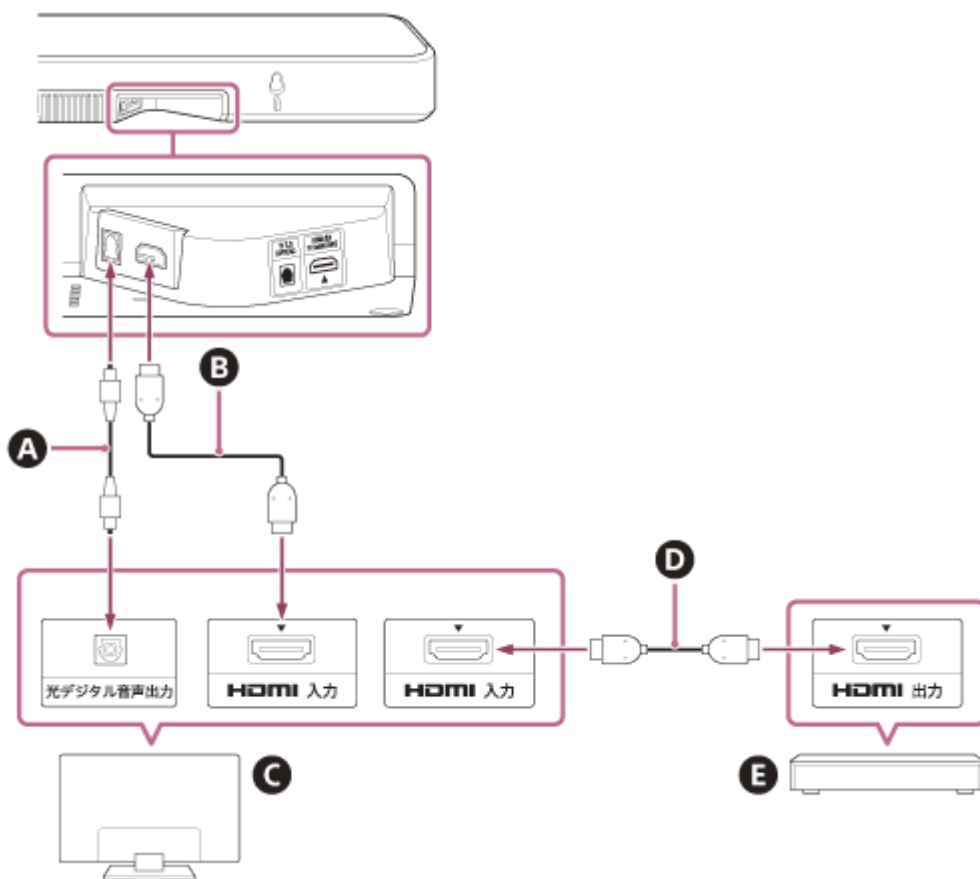
- テレビのeARC設定：お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機のeARC設定：お買い上げ時は有効に設定されています。

ご注意

- コネクタは奥までしっかり差してください。
- テレビのHDMI機器制御機能を有効に設定してください。テレビのHDMI機器制御機能を有効にしないと、本機からテレビの音声が出されません。
- テレビのeARC機能を有効にすることで一部の機能が制限される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

eARC/ARC非対応のテレビとつなぐ

1. テレビのHDMI入力端子と本機のHDMI出力（TV（eARC/ARC））端子をHDMIケーブル（付属）でつなぐ。
2. テレビの光デジタル音声出力端子と本機のTV入力（OPTICAL）端子を光デジタル音声ケーブル（別売）でつなぐ。
3. テレビの音声を本機から出力できるように、テレビの設定を変更する。
お使いのテレビによっては、本機の接続時に自動で設定される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。



- A** 光デジタル音声ケーブル（別売）
- B** HDMIケーブル（付属）
- C** テレビ
- D** HDMIケーブル（別売）
- E** ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など

外部機器（ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など）は、テレビとHDMIケーブル（別売）でつないでください。

ご注意

- コネクターは奥までしっかり差ししてください。
- 光デジタル音声ケーブルのプラグと、テレビと本機の端子の形状を確認し、プラグを正しい向きで差し込んでください。間違った向きで無理に差し込むと、端子やプラグが破損することがあります。

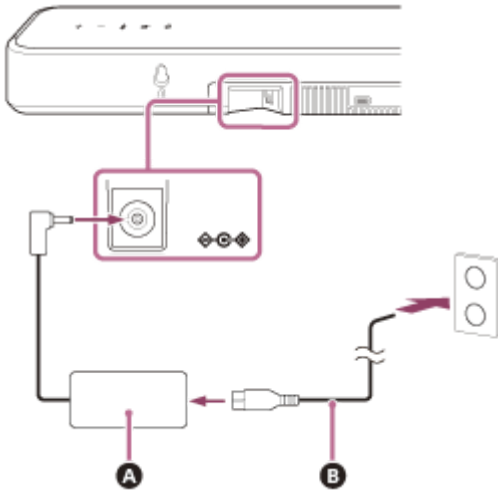
関連項目

- [\[HDMI設定\]](#)

サウンドバー
HT-S2000

電源につなぐ

- ① バースピーカーのDC入力端子にACアダプター（付属）と電源コード（付属）をつなぎ、コンセントに差し込む。



- A** ACアダプター（付属）
B 電源コード（付属）

サウンドバー
HT-S2000

“Sony | BRAVIA Connect”アプリで初期設定をする

本機をセットアップするには、“Sony | BRAVIA Connect”アプリを使用します。

- 1 バースピーカーとテレビの接続が完了し、バースピーカーが電源につながっていることを確認する。
- 2 “Sony | BRAVIA Connect”アプリをダウンロードしてスマートフォンにインストールする。



- 3 アプリを起動し、画面にしたがってセットアップを完了する。

関連項目

- [バースピーカーを設置する](#)
- [バースピーカーを壁に取り付ける](#)
- [テレビとつなぐ](#)
- [電源につなぐ](#)

サウンドバー
HT-S2000

テレビの音声を聞く

アプリのリモコン画面で以下のように操作してください。

- 1 画面上部にある再生情報表示/入力切換エリアをタップして、入力を【テレビ】に切り換える。
- 2 音量を調節する。

付属リモコンで操作するには

1. INPUT（入力切換） を押して、表示窓に【TV】を表示させる。
2. 音量を調節する。

ご注意

- テレビをHDMI出力（TV（eARC/ARC））端子とTV入力（OPTICAL）端子両方につないだ場合は、HDMI出力（TV（eARC/ARC））端子へ入力される音声が優先されます。
- サブウーファーは低音を再生するためのスピーカーです。テレビ放送などの低音の少ない入力では、サブウーファーの音が聞こえにくいことがあります。

ヒント

- バースピーカーの （入力切換）をタップして、入力をテレビに切り換えることもできます。

サウンドバー
HT-S2000

音質を調整する

アプリのリモコン画面や付属リモコンで以下のような音質調整ができます。

アプリのリモコン画面で操作する

- **【ナイトモード】**
深夜の小音量時でも音響効果やセリフの明瞭さを失わずに音声を楽しめます。
- **【サウンドフィールド】**
サラウンド効果を加えて音声を再生します。臨場感のあるサラウンドを体感したいときに適しています。
- **【ボイスモード】**
セリフを強調し、聞こえやすくします。

付属リモコンで操作する

付属リモコンのボタンを押すたびに設定が変わり、表示窓に設定が表示されます。

- **SOUND FIELD (サウンドフィールド)**
サラウンド効果を加えて音声を再生します。臨場感のあるサラウンドを体感したいときに適しています。
[SF.ON] : サウンドフィールド機能が有効です。
[SF.OFF] : サウンドフィールド機能が無効です。
- **VOICE (ボイスモード)**
セリフを強調し、聞こえやすくします。
[Vo.ON] : ボイスモード機能が有効です。
[Vo.OFF] : ボイスモード機能が無効です。
- **NIGHT (ナイトモード)**
深夜の小音量時でも音響効果やセリフの明瞭さを失わずに音声を楽しめます。
[N.ON] : ナイトモード機能が有効です。
[N.OFF] : ナイトモード機能が無効です。

ご注意

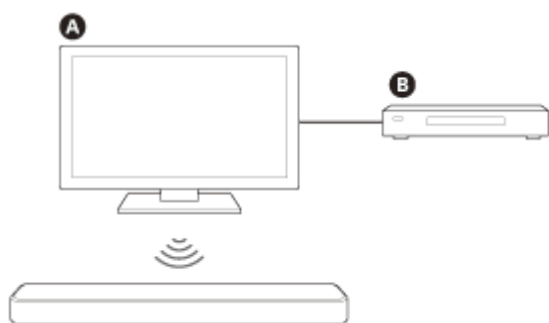
- 本機の電源を切ると、ナイトモードは自動的に無効になります。

サウンドバー
HT-S2000

テレビとBLUETOOTH機能でつなぐとできること

ソニー製のBLUETOOTH機能搭載テレビ(*)をお使いの場合、テレビと本機をBLUETOOTH機能でつないで、テレビやテレビにつないだ機器の音声をワイヤレスで聞くことができます。

* A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) に対応している必要があります。



- A ソニー製のテレビ
- B ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ (CATV) ボックス/衛星放送チューナー、またはゲーム機など

ご注意

- テレビと本機をBLUETOOTH機能でつなぐと、テレビやテレビにつないだ機器の音声を聞く以外の機能はお使いになれません。本機のすべての機能をお使いになりたい場合は、本機とテレビをHDMIケーブル (付属) でつないでください。

関連項目

- [無線機能のオン/オフを設定する](#)


サウンドバー
HT-S2000

本機とテレビをワイヤレスでつないで音声を聞く

BLUETOOTH機能を使ってテレビと本機を機器登録（ペアリング）する必要があります。
ペアリングとは、BLUETOOTH機器同士を互いにあらかじめ登録することです。

- 1 テレビの電源を入れる。
- 2 アプリのリモコン画面で入力を【Bluetooth】に切り換える。
すでに本機を別のBLUETOOTH機器とつないでいる場合は、【他の機器と接続する】を選びます。
【Bluetooth】入力で切り換えると、本機がペアリングモードになります。
- 3 テレビでペアリング操作をして、本機を検索する。
テレビが検出したBLUETOOTH機器の一覧がテレビ画面に表示されます。
テレビでBLUETOOTH機器をペアリングする操作方法は、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- 4 テレビの画面に表示されたBLUETOOTH機器の一覧から「HT-S2000」を選び、本機とテレビを相互に登録する。
- 5 アプリのリモコン画面で本機とテレビがBLUETOOTH機能でつながったことを確認する。
- 6 テレビのリモコンでお好みの番組、またはテレビにつないだ機器の入力を選ぶ。
テレビに表示している映像の音声の本機から出力されます。
- 7 テレビのリモコンで本機の音量を調節する。
テレビのリモコンの消音ボタンを押すと、本機の音を一時的に消すことができます。

バースピーカーで操作するには

1. テレビの電源を入れる。
2. バースピーカーの  (BLUETOOTH) を約2秒間タッチする。
3. バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色で2回ずつ点滅し、表示窓に【PAIRING】が表示されていることを確認する。
4. テレビでペアリング操作をして、本機を検索する。
5. テレビの画面に表示されたBLUETOOTH機器の一覧から「HT-S2000」を選び、本機とテレビを相互に登録する。
6. バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に点灯し、表示窓に接続機器名が表示された後、【BT】が表示されていることを確認する。
7. テレビのリモコンでお好みの番組、またはテレビにつないだ機器の入力を選ぶ。
8. テレビのリモコンで本機の音量を調節する。

BLUETOOTH機能の接続状態を確認する

接続の状態	BLUETOOTHランプ
ペアリング待ち状態	青色で2回ずつ点滅
接続待ち状態	青色に点滅
接続完了	青色に点灯

ご注意

- 本機からテレビの音声がでないときは、アプリのリモコン画面で [Bluetooth] 入力を選びます。バースピーカーの表示窓とランプの状態を確認して、下記のいずれかの対処をしてください。
 - BLUETOOTHランプが青色で2回ずつ点滅し、表示窓に [PAIRING] が表示されているとき：テレビでペアリングを行ってください。
 - 表示窓に [TV] が表示されているとき：ペアリングの手順を最初からやり直してください。
- ペアリングに失敗する場合は、テレビで以下の操作をお試しください。
 - ペア設定リクエストを許可する。
 - テレビのペアリング済み機器が上限数に達している場合は、不要な機器を削除する。
 - 本機を初期化したときは、テレビから本機のペアリング情報を削除して、もう一度ペアリングを行う。

ヒント

- まだ1台もペアリングをしていない場合（本機ご購入直後など）は、[Bluetooth] 入力に切り換えるだけでペアリングモードになります。

関連項目

- [無線機能のオン/オフを設定する](#)
- [初期化する](#)

サウンドバー
HT-S2000

機器登録 (ペアリング) したテレビの音声を聞く

1 テレビの電源を入れる。

2 アプリのリモコン画面で入力を [Bluetooth] に切り換える。

本機と最後につないだBLUETOOTH機器がテレビの場合、本機とテレビが自動的につながります。
本機を別のBLUETOOTH機器とつないでいる場合は、[他の機器と接続する] を選んでください。次にテレビを操作して、テレビと「HT-S2000」をつないでください。

3 テレビのリモコンでお好みの番組、またはテレビにつないだ機器の入力を選ぶ。

テレビに表示している映像の音声が本機から出力されます。

4 テレビのリモコンで本機の音量を調節する。

テレビのリモコンの消音ボタンを押すと、本機の音を一時的に消すことができます。

付属リモコンで操作するには

1. テレビの電源を入れる。
2. INPUT (入力切換) を押して、表示窓に [BT] を表示させる。

本機と最後につないだBLUETOOTH機器がテレビの場合、本機とテレビが自動的につながりバースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に点灯します。

すでに本機を別のBLUETOOTH機器とつないでいる場合は、[他の機器と接続する] を選んでください。次にテレビを操作して、テレビと「HT-S2000」をつないでください。

3. テレビのリモコンでお好みの番組、またはテレビにつないだ機器の入力を選ぶ。
4. テレビのリモコンで本機の音量を調節する。

ヒント

- 本機とテレビをBLUETOOTHで接続できなかった場合、テレビで、「HT-S2000」を選んでください。
- 音の遅延が気になる場合は、アプリのリモコン画面で [設定] → [Bluetooth設定] → [Bluetooth接続品質] を [接続優先] に変更すると改善する場合があります。

テレビの接続を解除する

次のいずれかを行ってください。

- テレビのBLUETOOTH機能をオフにする。
- 本機またはテレビの電源を切る。

関連項目

- [無線機能のオン/オフを設定する](#)

5-045-382-01(3) Copyright 2022 Sony Corporation

サウンドバー
HT-S2000

モバイル機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く

BLUETOOTH機能を使うには、あらかじめ本機でモバイル機器をペアリングする必要があります。
ペアリングとは、機器同士を互いにあらかじめ登録することです。

- 1 モバイル機器の電源を入れる。**
- 2 アプリのリモコン画面で入力を【Bluetooth】に切り換える。**

すでに本機を別のBLUETOOTH機器とつないでいる場合は、【他の機器と接続する】を選びます。
【Bluetooth】入力で切り換えると、本機がペアリングモードになります。
- 3 モバイル機器でペアリング操作をして、本機を検索する。**


モバイル機器が検出したBLUETOOTH機器の一覧がモバイル機器の画面に表示されます。
モバイル機器でBLUETOOTH機器をペアリングする操作方法は、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。
- 4 モバイル機器の画面に表示された機器の一覧から「HT-S2000」を選び、本機とモバイル機器を相互に登録する。**

パスコードを要求された場合は、「0000」を入力します。
- 5 アプリのリモコン画面で本機とモバイル機器がBLUETOOTH機能でつながったことを確認する。**
- 6 モバイル機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。**

本機から音声が出力されます。
- 7 音量を調節する。**

アプリのリモコン画面または音楽再生アプリから音量を調節できます。
アプリのリモコン画面で再生操作アイコンをタップして、コンテンツの再生や一時停止することもできます。

バースピーカーで操作するには

1. モバイル機器の電源を入れる。
2. バースピーカーの  (BLUETOOTH) を約2秒間タッチする。
3. バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色で2回ずつ点滅し、表示窓に【PAIRING】が表示されていることを確認する。
4. モバイル機器でペアリング操作をして、本機を検索する。
5. モバイル機器の画面に表示された機器の一覧から「HT-S2000」を選び、本機とモバイル機器を相互に登録する。
6. バースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に点灯し、表示窓に接続機器名が表示された後、【BT】が表示されていることを確認する。
7. モバイル機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。
8. 音量を調節する。

BLUETOOTH機能の接続状態を確認する

接続の状態	BLUETOOTHランプ
ペアリング待ち状態	青色で2回ずつ点滅
接続待ち状態	青色に点滅
接続完了	青色に点灯

ご注意

- ペアリングに失敗する場合は、モバイル機器で以下の操作をお試しください。
 - ペア設定リクエストを許可する。
 - モバイル機器のペアリング済み機器が上限数に達している場合は、不要な機器を削除する。
 - 本機を初期化したときは、モバイル機器から本機のペアリング情報を削除して、もう一度ペアリングを行う。

ヒント

- まだ1台もペアリングをしていない場合（本機ご購入直後など）は、[Bluetooth] 入力に切り換えるだけでペアリングモードになります。
- 2台目以降もモバイル機器ごとにペアリングを行ってください。

関連項目

- [無線機能のオン/オフを設定する](#)
- [初期化する](#)

サウンドバー
HT-S2000

機器登録 (ペアリング) 済みのモバイル機器の音楽を聞く

1 モバイル機器のBLUETOOTH機能をオンにする。

2 アプリのリモコン画面で入力を [Bluetooth] に切り換える。

本機と最後につないだBLUETOOTH機器と自動的につながります。

本機を別のBLUETOOTH機器とつないでいる場合は、[他の機器と接続する] を選んでください。次に本機とつなぎたいモバイル機器を操作してBLUETOOTH機能の接続相手に「HT-S2000」を選んでください。

3 モバイル機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。

本機から音声が出力されます。

4 音量を調節する。

アプリのリモコン画面または音楽再生アプリから音量を調節できます。

アプリのリモコン画面で再生操作アイコンをタップして、コンテンツの再生や一時停止することもできます。

付属リモコンで操作するには

1. モバイル機器のBLUETOOTH機能をオンにする。
2. INPUT (入力切換) を押して、バースピーカーの表示窓に [BT] を表示させる。

本機と最後につないだBLUETOOTH機器と自動的につながりバースピーカーのBLUETOOTHランプが青色に点灯します。

手順1で操作したモバイル機器につながらなかった場合は、アプリのリモコン画面で [他の機器と接続する] を選んでください。次に手順1で操作したモバイル機器を操作してBLUETOOTH機能の接続相手に「HT-S2000」を選んでください。

3. モバイル機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。
4. 音量を調節する。

ヒント

- 本機とモバイル機器をBLUETOOTHで接続できなかった場合、モバイル機器で「HT-S2000」を選んでください。
- 音の遅延が気になる場合は、アプリのリモコン画面で [設定] → [Bluetooth設定] → [Bluetooth接続品質] を [接続優先] に変更すると改善する場合があります。

モバイル機器の接続を解除する

次のいずれかを行ってください。

- モバイル機器のBLUETOOTH機能をオフにする。
- 本機またはモバイル機器の電源を切る。

関連項目





- [無線機能のオン/オフを設定する](#)

5-045-382-01(3) Copyright 2022 Sony Corporation

サウンドバー
HT-S2000

無線機能のオン/オフを設定する

お買い上げ時は、無線機能がオンに設定されています。

- バースピーカーの  (入力切換) と  (BLUETOOTH) を約5秒間タッチすると、表示窓に [BT POWER] と表示された後に [OFF] と表示され、BLUETOOTHとWireless LAN機能がオフになります。
- バースピーカーの  (入力切換) と  (BLUETOOTH) をもう一度約5秒間タッチすると、表示窓に [BT POWER] と表示された後に [ON] と表示され、BLUETOOTHとWireless LAN機能がオンになります。

ご注意

- 無線機能がオフに設定されている場合、以下の操作を行うことはできません。
 - BLUETOOTH機器とペアリングまたは接続する。
 - 別売のリアスピーカーやサブウーファーと接続する。
 - “Sony | BRAVIA Connect”を使用する。

サウンドバー
HT-S2000

テレビと本機を連携して操作する (HDMI機器制御機能)

HDMI機器制御機能対応のテレビと本機をHDMIケーブルでつなぐと、本機とテレビの電源の入/切や音量の調節を連携させることができます。

HDMI機器制御機能とは

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) ケーブルでつないだ機器同士が連携して動作する機能のことです。HDMI機器制御機能に対応した機器間で働きますが、他社製の機器とつないだ場合に動作しない場合があります。

テレビと連携して使う準備をする

本機とHDMIケーブルでつないだテレビのHDMI機器制御機能を有効にしてください。
お買い上げ時は、本機のHDMI機器制御機能は有効に設定されています。

ヒント

- ブルーレイディスクレコーダーなどの機器をHDMIケーブルでテレビにつないでいる場合は、その機器のHDMI機器制御機能も有効にしてください。
- テレビやブルーレイディスクレコーダーなどの機器のHDMI機器制御機能を有効にするには、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ソニー製のテレビをご使用の場合は、テレビのHDMI機器制御 (“ブラビアリンク”) 機能を有効にすると、本機のHDMI機器制御機能も自動的に有効になります。設定が完了すると、表示窓に [DONE] が表示されます。
- 本機のHDMI機器制御機能の設定は、アプリのリモコン画面の [設定] → [HDMI設定] → [HDMI機器制御] で変更できます。

テレビのリモコンで本機の電源や音量を操作する

テレビのリモコンで電源や音量を操作すると、テレビに連携して本機が動作します。



- A テレビ
- B テレビのリモコン

電源の連動

テレビの電源を入れると、本機の電源も自動的に入ります。テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れます。

ご注意

- テレビの電源を切るよりも前に本機の電源を切ると、次にテレビの電源を入れても本機の電源が入らないことがあります。この場合、以下の操作をすると本機の電源が入ります。
 - テレビのメニューで、本機をスピーカー出力先に選ぶ。
 - ソニー製のテレビをお使いの場合は、テレビの電源が入っている状態で本機の電源を入れる。

音量の調節

テレビで視聴している映像の音声自動的に本機のスピーカーから出力されます。また、テレビのリモコンで本機の音量を調節できます。

5-045-382-01(3) Copyright 2022 Sony Corporation

サウンドバー
HT-S2000

“ブラビアリンク”対応テレビと本機を連携して操作する

“ブラビアリンク”はHDMI機器制御機能をソニーが独自に拡張した機能です。“ブラビアリンク”対応のテレビやブルーレイディスクレコーダーなどの機器をHDMIケーブルでつなぐと、これらの機器を連携して操作ができます。

“ブラビアリンク”を使うには

ソニー製の機器のHDMI機器制御機能を有効にすると、“ブラビアリンク”が有効になります。

“ブラビアリンク”でできること

HDMI機器制御機能

- 電源の連動
- 音量の調節
- ワンタッチプレイ

関連項目

- [テレビと本機を連携して操作する \(HDMI機器制御機能\)](#)

サウンドバー
HT-S2000

【ワイヤレススピーカー接続設定】

別売のサブウーファーやリアスピーカーの設置や接続に関する設定です。
アプリのリモコン画面で「設定」→「ワイヤレススピーカー接続設定」をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

ワイヤレススピーカー接続確認

アプリの画面で本機とつながっているスピーカーの接続状態を確認できます。

【自動リンク】

別売のサブウーファーやリアスピーカーを本機と自動でつなぎます。

【手動リンク開始】

別売のサブウーファーやリアスピーカーを本機と手動でつなぎます。

【接続周波数を最適化】

通常はこの設定を有効にします。自動的にワイヤレス通信に最適な周波数を選ぶワイヤレス混線に強いモードです。無効にすると無線接続している周波数が固定されるため、もしも音切れする場合は無効にすると改善することがあります。

【ワイヤレス再生品質】

別売のサブウーファーやリアスピーカーの再生品質を設定します。

サウンドバー
HT-S2000

[サウンド設定]

音声の出力に関する設定です。

アプリのリモコン画面で [設定] → [サウンド設定] をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

[スピーカー配置とレベル設定]

サラウンド音声を十分に楽しむために、視聴位置からスピーカーまでの距離と出力レベルを調整します。

[サウンドフィールド設定]

サラウンド効果の種類を選びます。選んだサウンドフィールドの効果を楽しむには、付属リモコンまたはアプリのリモコン画面で、サウンドフィールド（エフェクト）を有効にしてください。

[DSEE]

圧縮音源の高音域を補完して再生します。

[オーディオDRC]

音声信号のダイナミックレンジ（最大音量から最小音量の幅）を圧縮して、小さな音を聞き取りやすくします。

[DTSダイアログコントロール]

DTS:Xダイアログコントロールに対応したコンテンツの再生中、セリフの音量を調節することにより、セリフの音量を背景の音から際立たせ、騒がしい環境でも映画などのセリフを聞き取りやすくします。

[AVシンク]

音声と映像のずれを調節します。

[入力レベル自動調整]

入力信号による音量の変化を小さくします。例えばコマーシャルの音量が番組の音量より大きい場合などに有効です。

関連項目

- [付属リモコン](#)
- [アプリのリモコン画面](#)

サウンドバー
HT-S2000

[HDMI設定]

HDMIに関する設定です。

アプリのリモコン画面で [設定] → [HDMI設定] をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

[HDMI機器制御]

HDMI機器制御機能が有効なとき、HDMIケーブルでつないだ機器を相互に操作したり、テレビからARC音声を受けることができます。

[eARC]

eARC対応テレビにつないでいるとき、設定を有効にするとeARC機能が働きます。ARC対応テレビ（eARC非対応テレビ）につないでいるときは、この設定に関係なくARC機能が働きます。

eARCを有効にしたときは、テレビのeARC設定を確認してください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

[TV音声入力モード]

テレビからの音声入力を選びます。

サウンドバー
HT-S2000

【Bluetooth設定】

BLUETOOTH機能の詳細設定です。

アプリのリモコン画面で [設定] → [Bluetooth設定] をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

【Bluetooth接続品質】

モバイル機器の音声を本機で聞くときのBLUETOOTH接続品質を設定します。

関連項目

- [無線機能のオン/オフを設定する](#)

サウンドバー
HT-S2000

【本体設定】

本機に関する設定です。
アプリのリモコン画面で [設定] → [本体設定] をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

【自動電源オフ】

何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、自動的にスタンバイ状態になります。

【ネットワーク/Bluetoothスタンバイ】

接続履歴のあるBLUETOOTH Classic機器との接続時に電源が入ります。アプリから本機の電源を入れることもできます。

【IRリピーター】

本機が受けたテレビのリモコン信号をバースピーカー背面からテレビに送信します。

【本体表示の明るさ】

表示窓とランプの明るさを調節できます。別売のサブウーファーやリアスピーカーのランプの明るさも調節できます。

【システム情報】

本機のソフトウェアバージョンなどの本体情報を表示します。

【ソフトウェアライセンス】

ソフトウェア使用許諾契約を表示します。

サウンドバー
HT-S2000

【かんたん初期設定】

本機の基本的な設定やスピーカー設定を簡単に行うことができます。
アプリのリモコン画面で【設定】→【かんたん初期設定】をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

【すべての設定】

本機の基本的な設定（スピーカー設定を含む）を行います。

【スピーカー接続】

お使いの環境に合わせてサラウンドを最適化するために基本的なスピーカーの設定をします。

サウンドバー
HT-S2000

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れにしたがってください。

1. 本機とテレビなどの他機器をつないでいるHDMIなどのケーブル類が正しい位置につながれ、しっかり奥まで差さっていることを確認する。



2. 本機の通風孔がふさがっていないか確認する



3. 電源コードをコンセントから抜いて電源を切り、数分後に再び電源コードを差し直す。



4. "Sony | BRAVIA Connect"アプリのメニューからサポートサイトにアクセスし、該当するトラブルと解決方法を調べる、または下記のサポートサイトを確認する。

<https://www.sony.jp/support/home-theater/products/ht-s2000.html>



5. 本機を初期化する

本機のすべての設定がお買い上げ時の状態に戻ります。



6. それでも正常に動作しない場合は、お買い上げ店またはソニー相談窓口にお問い合わせる。



関連項目

- [初期化する](#)

サウンドバー
HT-S2000

初期化する

「[困ったときにすること](#)」で症状が改善されない場合は、本機を初期化してください。

バースピーカーの （電源）と （音量）を同時に5秒以上タッチする。
設定が初期化されます。

ご注意

- 初期化により別売のサブウーファーやリアスピーカーとの接続が切断される場合があります。その場合は、アプリで[ワイヤレススピーカー接続設定]を行ってください。

関連項目

- [\[ワイヤレススピーカー接続設定\]](#)

サウンドバー
HT-S2000

主な仕様

サウンドバー (HT-S2000)

入力

TV入力 (OPTICAL)

出力

HDMI出力 (TV (eARC/ARC))

HDMI部

端子

19ピン標準コネクタ (Type A)

無線LAN部

通信方式

IEEE 802.11 a/b/g/n/ac

使用周波数帯域

2.4 GHz、5 GHz

BLUETOOTH部

通信方式

BLUETOOTH標準規格 Ver.5.2

出力

BLUETOOTH標準規格 Power Class 1

最大通信距離

見通し距離約30 m ¹⁾

登録台数

9台まで : Bluetooth Low Energy (Sony | BRAVIA Connect接続)

9台まで : Bluetooth Classic (A2DP)

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯 (2.400 0 GHz ~ 2.483 5 GHz)

変調方式

FHSS

対応BLUETOOTHプロファイル²⁾

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

対応コーデック³⁾

SBC⁴⁾、AAC⁵⁾

対応コンテンツ保護

SCMS-T方式

伝送帯域 (A2DP)

20 Hz ~ 20 000 Hz (44.1 kHzサンプリング時)

- 1) 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
- 2) BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
- 3) 音声圧縮変換方式のことです。
- 4) Subband Codec の略です。
- 5) Advanced Audio Codingの略です。

フロントL/フロントR/センタースピーカー部

使用スピーカー

45 mm × 82 mm コーン型

形式

アコースティックサスペンション型

内蔵サブウーファー部

使用スピーカー

45 mm × 82 mm コーン型

形式

バスレフ型

一般

消費電力

電気用品安全法による表示：42.0 W

[ネットワーク/Bluetoothスタンバイ] がオンのとき：2.0 W以下

[ネットワーク/Bluetoothスタンバイ] がオフのとき：0.5 W以下

最大外形寸法*（約）（幅／高さ／奥行き）

800 mm × 64 mm × 124 mm

* 突起部除く

質量（約）

3.7 kg

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

ワイヤレストランスミッター／レシーバー部

通信方式

Wireless Sound Specification version 4.0

使用周波数帯域

5 GHz 帯

変調方式

OFDM

ご注意

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 製品に同梱されている「使用上のご注意／仕様」には上記以外の仕様情報も記載されている場合がありますのでご覧ください。

サウンドバー
HT-S2000

対応する音声フォーマット

対応している音声フォーマットは、入力によって異なります。次の表で「○」の場合はその音声フォーマットに対応しています。「-」の場合はその音声フォーマットは非対応です。

フォーマット	TV入力 (eARC)	TV入力 (ARC)	TV入力 (OPTICAL)
LPCM 2ch	○	○	○
LPCM 5.1ch	○	-	-
LPCM 7.1ch	○	-	-
Dolby Digital	○	○	○
Dolby TrueHD	○	-	-
Dolby Digital Plus	○	○	-
Dolby Atmos	○	-	-
Dolby Atmos - Dolby TrueHD	○	-	-
Dolby Atmos - Dolby Digital Plus	○	○	-
DTS	○	○	○
DTS-ES Discrete 6.1、DTS-ES Matrix 6.1	○	○	○
DTS 96/24	○	○	○
DTS-HD High Resolution Audio	○	○	-
DTS-HD Master Audio	○	-	-
DTS:X	○	-	-
MPEG-2 AAC	○	○	○
MPEG-4 AAC	○	○	○

サウンドバー
HT-S2000

商標について

Microsoft およびWindows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

DSEEはソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。

BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴ は、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

HDMI®、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

“ブラビアリンク” および “BRAVIA Link” ロゴは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

サウンドバー
HT-S2000

ライセンスについて

Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。非公開機密著作物。著作権1992-2021年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご覧ください。本製品はDTS社からの実施権に基づき製造されています。DTS、DTS:X、Virtual:X、およびDTS:Xロゴは、米国および他の国々で登録されたDTS社の登録商標または商標です。© 2021 DTS, Inc. 版權所有

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。

<https://rd1.sony.net/help/ht/sl/v1/23/>

本製品に含まれるソフトウェアには、GPL/LGPL およびソースコードの提供を伴うその他のライセンス条件のもとでライセンスされたソフトウェアが含まれています。GPL/LGPL 等に基づき、ソニーがソースコードを提供すべきソフトウェアのソースコードは以下のサイトからダウンロードできます。DVD-ROM等の有体媒体に記録されたソースコードをご希望の方は、同じく以下のサイトのフォームからお申込み下さい。ソースコードの提供は本製品の最終出荷日から3年以内にご要望を頂いた場合に限りさせていただきます。

<https://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせは御遠慮ください。

第三者が提供するサービスに関する免責事項

第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

サウンドバー
HT-S2000

ご注意

使用上のご注意

- 付属のACアダプターは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードが傷んだ場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に交換をご依頼ください。

取り扱いについて

- もしも水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- 暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、ほこりの多いところ、激しい振動のあるところには本機を置かないでください。故障の原因になる場合があります。
- 本機のスピーカーは、防磁型ではありません。本機の上や近くに磁気を利用したカード類は置かないでください。
- 本機の周りにテレビ以外の金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このような場合は、本機をそれらの機器から離して設置してください。
- 電子レンジや大きなスピーカーなど、強力な磁気を発するもの近くには置かないでください。
- 使用中に本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 本機の通風孔をふさぐと、内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。通風孔を絶対にふさがないでください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている床に本機を置くと、床に変色、染みなどが残る場合があります。

本機のお手入れのしかた

- キャビネットは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。研磨パッド、クレンザー、アルコールやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

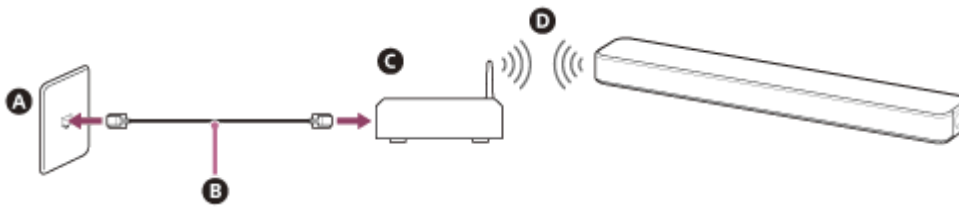
BLUETOOTH通信について

- BLUETOOTH無線技術は、スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。通信有効範囲は障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって変動します。
- BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。BLUETOOTH通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBLUETOOTH機器とのBLUETOOTH接続を保証するものではありません。
 - 接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

その他のご注意

- [自動電源オフ] 機能を無効にすると本機の消費電力が上がります。
- 本機をインターネットに接続する場合は、必ず適切なセキュリティ設定を施したルーター (*) を介して接続してください。
セキュリティの問題が発生すると、製品がインターネットを通じてマルウェア（悪意のあるソフトウェア）等による被害を受け、お客様の情報やコンテンツが抜き取り・改ざんなどのセキュリティの脅威にさらされてしまうことがあります。それだけにとどまらず、知らないうちにお使いの機器が各種ネットワークサービスに損害を与える側にもなってしまいます。
- * ルーターとはインターネット回線とローカルネットワーク回線を中継する機器です。
下記のような種類があります。
 - 有線方式のルーター
 - ルーター機能付きADSLモデム
 - ルーター機能付き光回線終端装置（ONU）
 - ルーター機能付きWi-Fiアクセスポイント
 - 壁についているネットワーク回線用のコンセント機器 (**)
- ** 壁についているネットワーク回線用のコンセント機器がルーター機能を有するか不明な場合は、集合住宅の管理者やインターネットプロバイダーなどにご確認ください。



- A** 壁のLAN端子
- B** LANケーブル
- C** ルーター
- D** 無線LAN

- ほかに疑問点や問題点がある場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

サウンドバー
HT-S2000

サポートページで調べる

本機のご利用上必要なサポート情報です。

<https://www.sony.jp/support/>

サポートページでは、以下のような情報を見ることができます。

- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- 困ったときは（Q&A）（よくある問い合わせ情報）
- 重要なお知らせ（サポートからの重要なお知らせ）
- 接続情報
- 製品登録（製品登録へのご案内）
- 修理のご相談